



伊藤孝二郎村長
(村長室にて：昭和53年)

黒川村長・名誉村民
伊藤 孝二郎



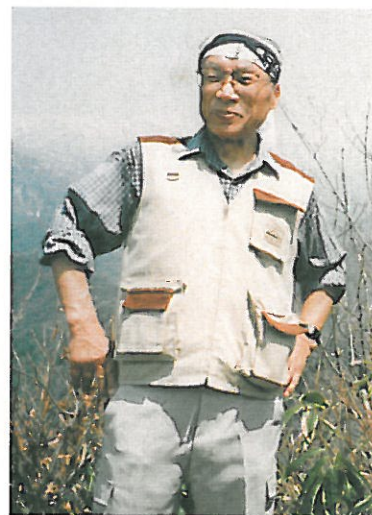
常陸宮両殿下をご案内する伊藤村長
(全国野鳥保護のつどい：昭和62年)

伊藤孝二郎村長は大正12年(1923年)、黒川村黒川に生まれます。国立盛岡高等農林学校を卒業後、昭和30年、31才で第10代黒川村長に就任し、就任以来平成15年まで12期48年にわたり優れた政治手腕とリーダーシップを発揮しました。道路網の整備をはじめ、羽越大水害の克服、全国植樹祭など三大緑の祭典を招致など、村の飛躍的発展にその生涯を尽くしました。

また新潟県町村会会長、全国町村会副会長、行政改革推進本部地方分権部会本部専門委員など政府関係委員、新潟県土地改良事業団体連合会会長、新潟県河川協会会長、新潟県国民健康保険団体連合会理事長など多くの要職を歴任しました。

「村づくりは人づくり」「政治とは知識や評論ではない。いかに実行したかだ」「歴史は今われわれがつくっている。後世に何を残すか」など、伊藤村長の忘れ得ない語録です。

平成15年6月に村長を辞任し、その翌月の7月28日に病のため79才の生涯を終えられました。村葬は観光開発の集大成として建てられたロイヤル胎内パークホテルで執り行われました。偉大な御功績をたたえ、平成15年に黒川村の名誉村民となり、翌平成16年にはロイヤル胎内パークホテル前に銅像が建立され、碑文には業績と偉業を讃えた文が記されています。



山を愛した伊藤村長(73才)